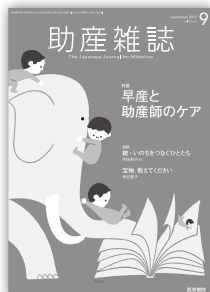


助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2016年10月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2018年9月号

特集

早産と助産師のケア

早産を防ぐために、助産師による予防的な介入はできないでしょうか。特集では早産管理の現状と、助産師ができる予防的ケアや母親への対応を紹介します。「早産児と発達障害」および「低出生体重児のリスク軽減」についての論考も紹介します。

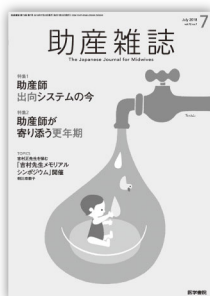


2018年8月号

特集

「院内助産・助産師外来ガイドライン 2018」院内助産の拡大を目指して

2018年3月に院内助産・助産師外来の新たなガイドラインが示されました。特集ではガイドラインの内容やねらいを解説するとともに、院内助産を実施している3施設からの報告を紹介し、院内助産の今後の発展につなげたいと考えます。



2018年7月号

特集①

助産師出向システムの今
導入が進む助産師出向システムの基本と、出向にかかわった方々の体験を紹介します。

特集②

助産師が寄り添う更年期
更年期の女性を支援されている助産師の方々に、具体的な実践をまとめていただきました。



2018年6月号

特集

助産師が行なう産後ケア 自立を支援する視点から

「産後ケア」の今後の発展につなげるため、「助産師が中心となって行なう産後ケア」について、自立支援の必要性や、具体的内容、地域やクリニックでの実践報告を含めて紹介しました。また、台湾における産後ケア施設の実態や社会的背景も紹介しました。



2018年5月号

特集

暴力被害から女性を救う 助産師が担う大きな役割

女性への暴力は生まれてくる子どもにも影響を及ぼします。助産師の機転や気づきが母子を救うきっかけにもなります。特集では、DV被害を受けた女性や子どもおよび性暴力被害にあった女性を守るために、助産師にできる具体的な行動や情報を提示しました。



2018年4月号

特集

産科混合病棟の中で 助産師にできること

少子化を背景に、産科病棟の混合化が進行しています。その問題点は、安全で安心な出産環境の確保が難しくなることです。特集では、産科混合病棟の現状について、最新のデータを示しながら課題を解説し、解決策を提案しました。

2018年 特集

- 3月号 10年目を迎えた産科医療補償制度と助産師
- 2月号 母乳育児と乳がん
- 1月号 私の会陰保護技術を振り返る

2017年 特集

- 12月号 周産期ボンディング障害を知っていますか？
- 11月号 ダウン症のある児をもつ親の将来の不安に寄り添う
- 10月号 助産師は父親をどう支えるか
- 9月号 とても大事な産後2週間健診